

のカラガンダ製鉄所の拡大のほかに、クスタナイ地区に大規模の製鉄所が新設される。

第5のクルスク地区はモスクワ南部に当り、この地区は欧ソ中部の鉄鋼大消費地であるが、従来大規模の製鉄基地をもたず、ノウォルパック、ノウォ・ツーラ、チェレポヴェツなどの製鉄所があつた。中部地区の粗鋼生産高は8倍以上に増加し、ソビエトの全粗鋼生産高における中部地区の比重は倍加する。

将来の製鉄所の経済的規模は、1200~1300万tである。この規模の製鉄所がいくつか新設されることになる。この種の製鉄所は、8コークス炉団、1化学工場、

6高炉、8~9転炉、ブルームおよびスラブ・ミルと仕上圧延機、35000~100000 m<sup>3</sup>/hの酸素発生装置、火力発電所などからなりたつている。コンビナートを形成するために、製鉄所のほかに、金属加工工場、セメント工場、窒素肥料・尿素肥料工場、耐火材工場などが建設される。

1980年までの鉄鋼業の長期発展計画により、最新の製鉄技術を採用し、製鉄設備および工場を大型化し、総合機械化とオートメーション化を実施し、また合理的生産および労働組織などによつて、ソビエト鉄鋼業の労働生産性がいちじるしく高められることになつている。

## 日本鉄鋼連盟創立15周年記念 懸賞論文募集

日本鉄鋼連盟では創立15周年を記念して下記要項により懸賞論文を募集いたしております。奮つてご投稿下さい。

### 募 集 要 項

- |             |  |
|-------------|--|
| 論 題         | <p>1. 鉄鋼コスト引下げの具体的方策<br/>良質、安価な鉄鋼を供給し、激しい国際競争に勝ち抜いていくための基本的な決め手はコストダウンです。そこで原料、運輸、生産、流通、労務、経営、その他いづれの面からでも結構です。鉄鋼のコスト引下げの参考となるような具体的な方法を纏めて下さい。</p> <p>2. 鉄鋼需要拡大の具体的方策<br/>明るく豊かな生活を築き産業の絢爛たる発展をおし進めるためには、鉄鋼は不可欠の基礎資材であります。国際的に国民1人当りの消費量を見た場合、まだまだわが国の鉄鋼消費は低い水準にあります。この鉄鋼消費増大のため、需要を開拓し、販売を促進し、輸出を振興するなど需要拡大の具体的な方策を論じて下さい。</p> |
| 枚 数         | 一題につき400字詰原稿用紙 20~25枚  |
| 締 切         | 昭和38年8月末日  |
| 賞 金         | 1等 5万円 1編, 2等 3万円 2編, 3等 1万円 若干編   |
| 審 査         | 業界および学界の学識経験者よりなる審査委員会の審査によります。  |
| 発 表         | 当連盟発行「鉄鋼界」昭和38年11月号に審査の結果を発表し、同誌上に逐次入選論文を掲載します。  |
| 注意事項        | 原稿には住所、氏名、職業、年令をご記入下さい。<br>なお、応募原稿はお返しいたしません。  |
| 送り先<br>問合せ先 | 日本鉄鋼連盟広報課<br>(東京都千代田区丸の内1の1 電話(201)1221番(代表))  |